

第5回 市長と話そうの様子

開催日時	令和7年5月29日(木) 15:00 ~ 16:30	場所	のつてらす 食事スペース
団体名	協同組合吉四六さん村グリーンツーリズム		
団体概要	<ul style="list-style-type: none"> ・農村民泊 ・体験学習受け入れ ・料理教室 等の活動を行っている。		
話し合いのテーマ	①私たちの活動をどのように捉えているか ②会の運営に関する課題等について相談		
参加者	20名(団体メンバー19名、西岡市長)		

対話の様子

対話では、『私たちの活動をどのように捉えているか』、『会の運営に関する課題等について相談』をテーマに活発な意見交換が行われました。
参加者からは、以下のようなお話やご意見がありました。

- ・平成14年に5人で会を発足させグリーンツーリズム活動として農泊（農村民泊）の受け入れを開始した。そこから地道な活動を続け、行政の協力も得て、平成25年から臼杵市内の小学校5年生を対象とする農泊体験事業をスタートし、現在も続いている。
- ・令和6年度の農泊受け入れ人数が全部で850人。その内500人以上が海外からのお客さん。特にヨーロッパから来る人が多い。田舎でしか経験できないことを提供することで、海外の方々に喜んでもらえる。会の中で英語を話せる人がほとんどいないので、昔はコミュニケーションを取るのが大変で、いろいろ工夫をしていた。今はスマホの翻訳機能があるのですごく楽になった。
- ・（受入家庭をする中での嬉しいエピソードについて）当時、農泊に来てくれた子が成人してから会いに来てくれることがありすごく嬉しい。みんな立派な大人になっていて、成長を感じることができる。
- ・会を発足させグリーンツーリズム活動を開始してから23年。農泊の受入家庭も高齢化しており、だんだん数が減ってきている。受入家庭の募集記事を市報等に掲載してもらえないか。

市長からは、以下のような話がありました。

- ・臼杵市の小学生は5年生になったら、皆がこの農泊を体験する。これは非常に素晴らしい取組だと思っている。農泊を体験したことも達から、「すごく良い体験になった。修学旅行より思い出に残っている」などの声も聞く。また、海外からのお客さんが多く、インバウンドの臼杵市における大きな受け皿になっていただいている。
- ・（受入家庭が減少しているという課題について）昔は、退職間近の方などに、「退職後のライフワークとして農泊の受入家庭をやってみないか？」と勧誘もできたと思うが、今は60歳を超えても仕事をするのが当たり前になっている。そういった中で勧誘するタイミングも難しいと思うが、多くの人に声をかけ、グリーンツーリズムの魅力を伝え、受入家庭を増やしていただきたいと思う。
- ・受入家庭の募集記事の市報掲載は可能だと思う。ケーブルテレビも市民の方はかなり見ているので、そういったものも活用して、しっかり告知していければと思う。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。“市長と話そう”では、市民の皆様の声を聴き、一緒に考え、よりよい臼杵市の未来を描くため、今後もさまざまな団体と対話を行っていきます！

